

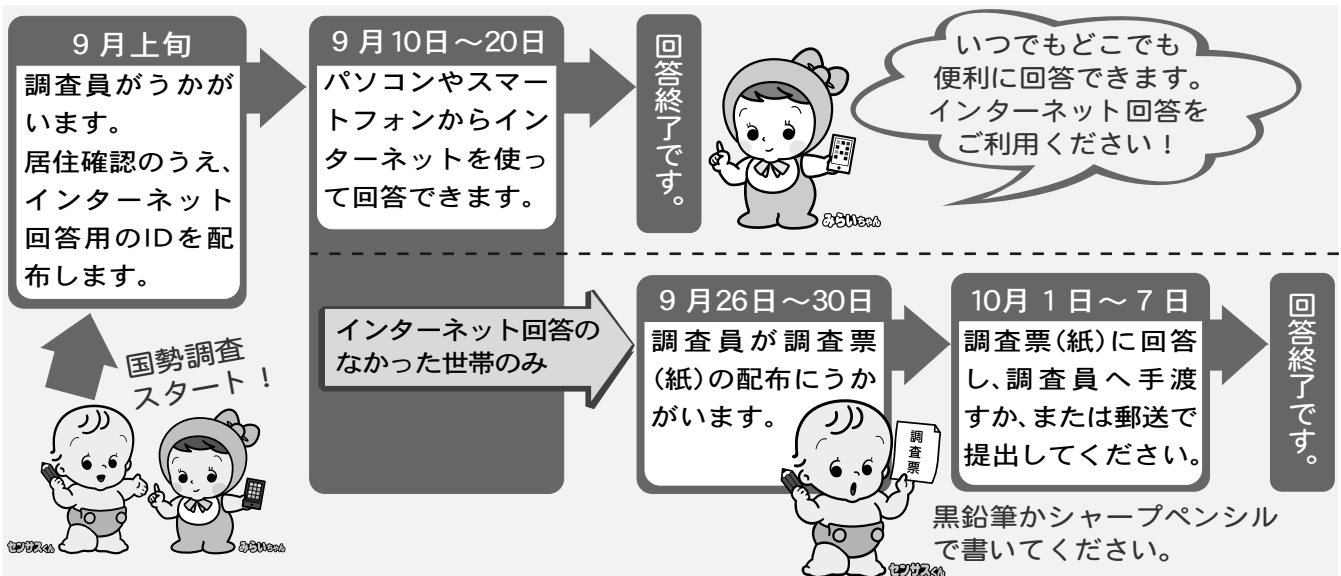
国勢調査
2015

10月1日現在で、 国勢調査を行います。

国勢調査は、日本の人口や世帯の実態を明らかにするため、法律に基づいて5年ごとに実施する、国の最も重要な統計調査です。日本に住んでいるすべての人・世帯が対象です。調査結果は少子高齢化対策、地方創生などの重要課題に対する施策に活用されます。

今回の国勢調査から、調査票を調査員に手渡す、または郵送で提出するという従来の方法のほかに、インターネットからも回答できるようになりました。パソコンだけでなく、タブレットやスマートフォンからも回答することができます。

9月上旬から調査員が各世帯を訪問しますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



調査票の記入内容は厳重に保護されます。

調査員をはじめとする国勢調査に従事する者には、法律によって個人情報保護するための厳格な守秘義務が課せられています。

国勢調査をよそおった「かたり調査」にご注意ください。

不審に思った際には回答しないで、速やかにコールセンターまたは市役所実施本部にお知らせください。

また、国勢調査では金銭を要求することはありません。銀行口座や暗証番号、クレジットカード番号をお聞きすることもありません。

調査項目は14項目です。

調査の内容は、男女の別、出生の年月、就業状況、従業地または通学地など、全部で14項目です。

「インターネット回答の操作ガイド」や「調査票の記入の仕方」をよくお読みいただき、記入漏れや誤りがないようにしてください。

国勢調査コールセンター
☎0570-07-2015

受付期間・時間
(土日祝日も受付)
■ 8月24日～10月31日
■ 午前8時～午後9時

市役所へのお問合せ
赤平市国勢調査実施本部
☎32-2212



「調査員証」を持っています。

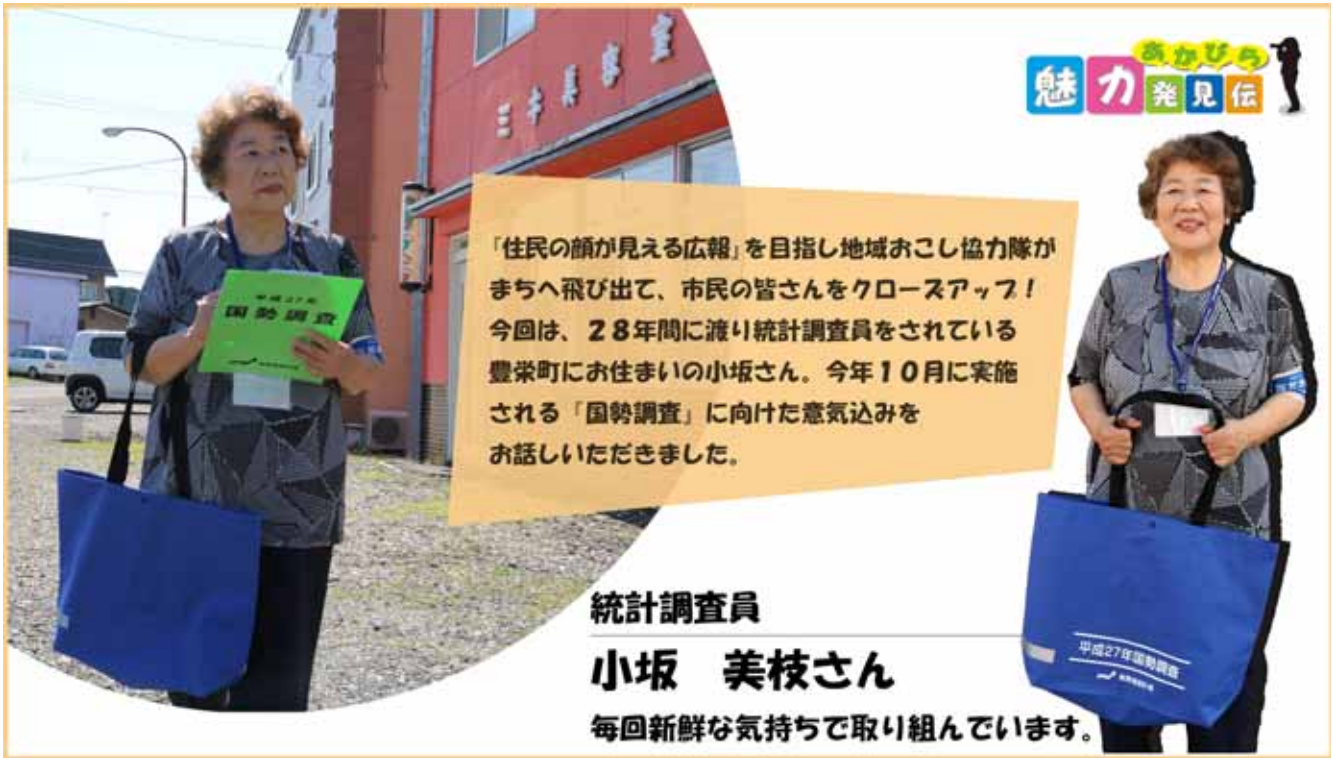
青が目印

・青いかばん
・青い腕章
・青いヒモの調査員証



国勢調査実施本部
担当 松本賢太

国勢調査員って
こんな人



「住民の顔が見える広報」を目指し地域おこし協力隊がまちへ飛び出て、市民の皆さんをクローズアップ！今回は、28年間に渡り統計調査員をされている豊栄町にお住まいの小坂さん。今年10月に実施される「国勢調査」に向けた意気込みをお話いただきました。

統計調査員
小坂 美枝さん
毎回新鮮な気持ちで取り組んでいます。

統計調査員になった
きつかけは？

近所で長年統計調査員をされていた方がいて、その方から、『自分の代わりに統計調査員を引き継いでくれないか。』と依頼されたことがきっかけです。

統計調査員はどんな
お仕事をされるのですか？

主に国が実施する統計調査を私たち調査員が、対象世帯に一軒一軒訪問して調査票の記入をお願いすることです。

調査員をしていて
何が一番大変ですか？

そうですね。調査対象の方が忙しくて、何度かお宅に伺ってもなかなかお会いできないときなどは、やっつけていて大変だなと感じることはあります。ほかに、調査をしていくうえで、上手くいかないこともありますが、終わってみれば『無事に終わった。』という安堵感と、『頑張ってよかった。』と

の満足感が得られるんです。だから、約30年ものあいだ、統計調査員として頑張り続けることが出来たんだと思いますね。

統計調査員をする際に
意識していることは？

まずは、統計調査の主旨を理解してもらえように、親しみやすい雰囲気意識して話すよう心がけています。

また、今年10月に行なわれる国勢調査は、数ある統計調査の中でも最も大規模で、かつ重要な統計調査なんです。普段の統計調査よりも多くの調査員さんが関わりますので、足を引っ張ることのないように、迅速かつ正確に調査を進められたらと考えています。

最後に一言！

かつて國學院大學短期大学部に3年ほど科目履修生として在籍していました。年を取っても夢中で勉強していたあのころは、いまでも懐かしい思い出となっています。

統計調査員も、夢中になって作業している点では勉強と同じで、いわば私のライフワークみたいなものかもしれませんね。

笑顔！ 編集後記 地域おこし協力隊 まちの情報発信部門
愛知県出身 野口 暢子



先月はたくさんのイベントがあり、いろんな方とお話する機会がありました。市民の皆さんに顔と名前を覚えて頂き、『野口さんおいで！』と声をかけてもらえることが本当に嬉しいです^^!!



趣味ではじめた『七宝焼き』について、照れながら話す小坂さん。ブローチやネックレスをはじめ、とても繊細な作品ばかりで、見ているこちらがうっとりしてしまう程の力作です。